

シンポジウム

「地域資源を活かして地域で働くーグラウンドワークを通じた地域社会と起業」

グラウンドワークとは、「住民・企業・行政がパートナーシップを組み、地域環境の改善を通して経済および社会の再生を図り、持続可能な地域社会を構築する」ための活動です。その発祥の地イギリスでは、NGO や社会起業家等による「社会的企業」がグラウンドワークを支え、また、地域社会における雇用の新しい担い手となっています。このような活動を日本に広め、定着させることが求められています。

本シンポジウムでは、グラウンドワークに関連する社会的活動を実践している方から話題提供いただき、地域の環境課題の解決に向けた協働のあり方について検討します。そして、“地域資源を活かした起業”について考えます。また、内閣府の事業として推進されているグラウンドワーク・インターンシップ事業のプログラムについても紹介します。

日時：2010年12月12日（日） 13時～16時30分

場所：徳島大学工学部工業会館2階 メモリアル・ホール（徳島市南常三島、工学部内）

<http://www.e.tokushima-u.ac.jp/article/0013936.html>

<http://www.e.tokushima-u.ac.jp/article/0012897.html>

主催：徳島大学環境防災研究センター、（社）生態系トラスト協会

共催：NPO 法人グラウンドワーク三島、NPO 法人徳島共生塾一步会、NPO 法人徳島保全生物学研究会

プログラム

1. 趣旨説明 鎌田磨人（徳島大学環境防災研究センター / 徳島保全生物学研究会）
2. “グラウンドワーク”とは 中村滝夫（生態系トラスト協会）
3. 協働による地域環境課題の解決を目指した取り組み
 - 3-1) “ヤイロチョウ”の森を守るナショナルトラスト活動
中村滝夫（生態系トラスト協会）
 - 3-2) 産学民官の協働による環境改善の取り組みーみなみから届ける環づくり会議
鎌田磨人（徳島大学環境防災研究センター）
 - 3-3) 地域の連携の進め方と課題ー一步会の挑戦
新開善二（徳島共生塾一步会）
4. 内閣府が進めるグラウンドワーク・インターンシップ事業
ー地域資源を活かした“起業”を支援するためのプログラム
南谷幸雄（生態系トラスト協会）
5. 総合討論

問い合わせ先：徳島大学環境防災研究センター 自然環境科学部門 鎌田 磨人

TEL & FAX 088-656-9134（内線：5083(常三島地区)）

Email kamada@ce.tokushima-u.ac.jp